

## II 大綱の評価

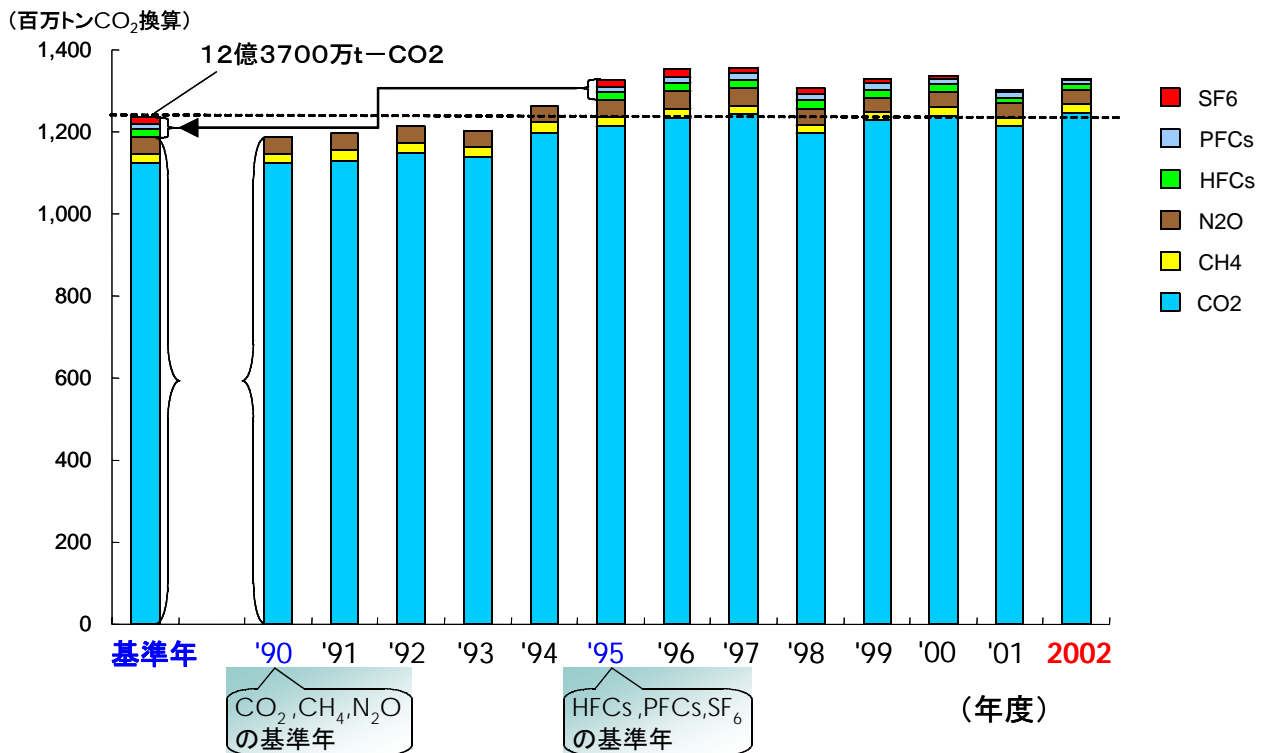
### 1. 現在の温室効果ガスの排出量の状況

#### (1) 1990年から2002年までの排出量の推移

(各区分の排出量)

- 2002年度の我が国の温室効果ガスの総排出量は13億3100万t-CO<sub>2</sub>となっており、基準年の総排出量を7.6%上回っている。(図1参照)

(図1：我が国の温室効果ガス総排出量の推移)



- 基準年から2002年までの温室効果ガス排出量の増減を温室効果ガス別に見ると、我が国の総排出量の9割以上を占める二酸化炭素の増加が大きく、その他5種類のガスは基準年を下回っている。
- また、大綱で定められている、各温室効果ガス等の区分毎の目標との対比で2002年度の排出量を見ると、「エネルギー起源二酸化炭素」については排出量が目標の水準を大幅に上回っており、「非エネルギー起源二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素」及び「代